



議会広報



いせとん

2022.6

令和4年

No.177



TOPICS
トピックス

議員定数は

??人が妥当と判断..... p2~3



今一度、
コロナ感染対策
徹底っちゃん!!

- ・令和4年度予算 **ココ** に **注目** p4~5
- ・診療所の医師確保を要請 p13
- ・あの質問・質疑はどうなった!? p18

今月の
表紙紹介
p18

議員定数調査特別委員会調査報告

議員定数は

10人が妥当と判断

審議内容と結果

報告 内田竹保 委員長

伊江村議会議員定数に関する調査特別委員会は、令和3年6月17日の第5回定例会において「議員定数調査特別委員会」を設置した。その理由は、全国的に議員のなり手不足が深刻化し、本村においても人口減少や高齢化が進み、議員のなり手不足が懸念されているため、今後の議員活動の維持と資質の向上を図るうえで委員会を設置した。

委員会を4回（6月17日、8月5日、12月23日、2月8日）開催し、委員会設置期間中に、伊江村の現状や課題、県内各町村

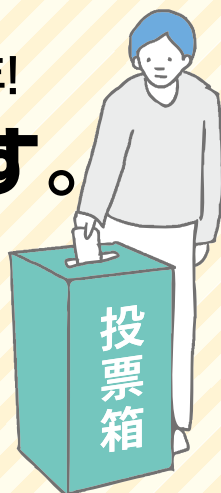
■ 調査等の経過一覧

月 日	回	場所	内 容
令和3年6月17日	定例会	本会議場	決議第2号 議員定数調査特別委員会設置に関する決議
	1	委員会室	正副委員長の互選 (委員長:内田竹保 副委員長:島袋勉)
6月24日		村長室	村長との意見交換(正副委員長)
8月5日	2	本会議場	・伊江村の現状と課題 ・県内各町村の実態報告について (人口・議員数比較) ・各団体へのアンケート実施について
12月23日	3	本会議場	・アンケートの結果報告について
令和4年1月27日		応接室	村行政改革推進本部との意見交換 (正副委員長・議長)
2月8日	4	本会議場	・議員定数の件について

今年は議員選挙改選の年！
定数は**10人**です。

現議員の任期は9月27日(火)までとなっています。

選挙管理委員会によって投開票日が決められ、議員選挙が行われます。



令和4年3月定例会最終日の17日に内田竹保委員長が調査報告を行い、調査が終了しました。

(関連記事を令和3年9月発行NO.174、令和4年3月発行NO.176に掲載しています。また、伊江村議会ホームページでもご覧になれます。)



慎重審議、調査を行いました。



の人口規模や議員数、予算規模に対する議員数の比較などの調査研究を行った。また、9月15日から10月22日までの間に、地域を代表する各区長や書記、村青年会や村婦人会などの各団体に議員定数や女性議員の必要性、議員活動に参画できる環境づくりなどのアンケート調査を実施し、77件の回答があった。

また、住民説明会を開催し、アンケート結果を広く周知して意見聴取をする予定をしていたが、新型コロナウイルスの感染急拡大により断念した。

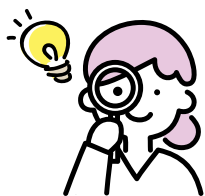
2月8日の最終委員会をもって、その結論に至った。

議員提案により委員会を設置したため、「定数を見直す」ことも含め、慎重審議を重ねて来た。アンケート結果や議員自ら住民へ広く意見を聴取し、更には、類似町村との比較、村の人口に対する予算規模などを比較した。特に、本村は人口減少しつつも、予算規模は増加傾向にあり、令和3年度当初予算（6会計）では総額11億431万5千円で、一般会計予算においても86億3千万円と過去最高の予算額となった。

議会は行政監視と意思決定機関であり、近年の予算規模の増大や各事業及び予算の執行は複雑多岐にわたることから、議会のチェック機能を維持することと、議会制民主主義として住民の声を行政に反映させるには現定数の10人が、大方「妥当である」と意見が一致した。

一方、本村の人口推計は減少傾向にあることと、近年の議員選挙の推移から減らすべきとの意見もあった。

議員定数調査特別委員会の採決結果は、現定数の10人に対し、賛成8人、反対1人という結果になった。



■ 類似町村との比較

(単位：千円)

町村名	人口 (R3.7.1)	議員定数(内訳)			議会費 (A)	令和3年度 一般会計予算額(B)	構成比 (A/B)
		男	女	計			
伊江村	4,437	10	0	10	72,561	8,630,000	0.8
伊是名村	1,339	9	1	10	65,465	2,864,058	2.3
与那国町	1,689	10	0	10	80,533	3,457,557	2.3
大宜味村	3,060	9	1	10	60,877	4,266,253	1.4
竹富町	4,344	10	2	12	108,660	11,201,647	1.0
国頭村	4,605	9	1	10	67,207	5,270,202	1.3

資料：町村議会実態調査集計表(令和3年7月1日現在)より

※伊江村の一般会計予算額に占める議会費の割合は少ない。



ぶち自慢

第19回沖縄県町村議会議長会広報コンクール（最優秀賞）受賞

7,858万6千円を可決

6会計

一般会計予算額69億2,500万円

対前年度比17億500万円の減額

減額は、屋内体育施設建設事業、防災無線放送施設整備事業等の事業完了に伴う影響だよ。

■令和4年第2回定例会(3月)を3月3日から17日までの15日間の会期で行いました。
本定例会では、令和4年度一般会計及び特別会計当初予算をはじめ、令和3年度補正予算など33件の議案を審議し、すべて原案の通り可決しました。
(審議結果の概要はP14～P15をご覧ください。)



令和4年度予算

(単位:千円)

会計名	令和4年度予算額	令和3年度予算額	前年度比増減額
一般会計	6,925,000	8,630,000	▲ 1,705,000
診療所特別会計	361,000	349,800	11,200
国民健康保険特別会計	983,500	966,700	16,800
後期高齢者医療特別会計	65,700	66,300	▲ 600
船舶運航事業会計	958,073	896,784	61,289
水道事業会計	185,313	194,731	▲ 9,418
合計	9,478,586	11,104,315	▲ 1,625,729

農業・生活

4億3,000万円

農業集落排水事業 管路工事 約6km



農業用水や海浜汚染が緩和される事に期待！

終末処理施設はその場所で決定か！？



島袋 義範 議員



並里 晴男 議員



名嘉 實 議員

観光・生活

1,100万円

伊江島空港可能性調査事業 伊江島空港の運用再開に向けた調査



伊江島空港が再開し、首都圏との路線開設や定住環境が向上する事に期待！



亀里 敏郎 議員



内田 竹保 議員

令和4年度予算総額 94億



私はつつに注目!?

漁業振興

7億9,629万円

陸上養殖場施設整備事業
実施設計、工事、令和5年度供用開始



スジアオノリの養殖で、漁業者の収入安定と後継者の育成に期待！

島袋 勉 議員

移住・定住

3,070万円

伊江村移住定住促進住宅整備事業 実施設計、用地取得



人口減少や移住定住の問題解決に向けて、移住定住促進住宅の令和6年度供用開始に期待！

虻江 修 議員

医療

3億6,100万円

診療所特別会計



常勤医師確保へ向けて村当局、議会と協働し対策を行う！
(令和4年5月から常勤医師確保)

内間 広樹 議員

教育・観光1億7,605万円

野球場サブグラウンド整備事業
サブグラウンド、ブルペン(投球練習場)整備含む



大会、合宿等の誘致により、人的交流の増加、観光の推進、村の活性化に期待！

山城 善彦 議員

戦跡

3,151万円

戦跡等周辺環境整備事業
駐車場の整備及び説明版の設置(2ヶ所)



沖縄戦を風化させない為にも戦跡等周辺を整備し、恒久平和を願う！

渡久地 政雄 議員

Q イージマ郷友会（北部在住者）は伊江村郷友会に支部として合併するのか

A 結論は出ていない。伊江村郷友会あるいはイージマ郷友会の皆さんと今後話し合いをしながら取り組んでいく。

Q 世界のイージマンチュ交流事業で前回参加者の方々に補助をしたが、今回は旅費の助成はないのか



ここが聞きたい!!

質問

答え

Q & A

予算審査特別委員会 質疑

A 今回は旅費の助成は行わない。沖繩に来て頂いた方を歓迎したいと考えている。

Q マイナンバーカードの交付者は何人か、カードの利用

A 人口4,475人のうち、交付枚数が2,425枚、交付率は54.19%。健康保険証としての利用が可能である。昨年の12月2日からは、スマートフォンでワクチンの接種証明書が取得できるようになっている。運転免許証としての利用が令和6年度からの開始予定になっている。



マイナンバーカード

Q 軽石の使用方法的検討は

A 約1トン袋詰めにして、村の指定ヤードに保管している。軽石を利用したいという方がいたら、1袋単位で利用できるということで、県で案をつくっている。

この案を基に村も無償提供の方向で、検討している。

Q 「子ども・若者総合相談支援事業」県から村に移行されているが専門支援員は県からの支援員なのか。相談員は、村で指定をされるのか

A 専門支援員は新たに内閣府の沖繩子供の貧困緊急対策事業を活用し、補助率が80%になっている。月4回、学校や家庭等での支援のアドバイスをする支援員に定期的にきていただく。

相談員は、経験を有している方で、令和3年度県の受託事業で実際に村内、学校等、相談員として活動されている方を令和4年度は会計年度任用職員で引き続き雇用をする。

Q 総合運動公園整備事業（サブグラウンドの年間利用率と利用回数の見込は

A 合宿を中心とした来村の際に、サブグラウンドとしてその用途に応じた練習をする場所として、利用を見込んでいる。回数は、過去の実績で来られている社会人や新たなチームを誘致するといった

ところにも努力しながら、利用頻度を高めていく。

Q 透析センターは、現在平均して18人利用者がいる。まだ余裕があるのか

A ベッド数が11床で18人が治療を受けている。

午前8時半から患者を受入れ治療に、約4、5時間かかっている。今の体制でいくと一週間で最大40人は受入れ可能である。

Q 旧ターミナルの駐車場に公用車の枠が6台あるが、使用していない箇所の公用車という文字を削除できないか

A 現在40台中、6台が公用車と明記されている。早急に削除を行う。



旧ターミナル駐車場

一般会計予算討論 (抜粋)

反対討論 名嘉 實 議員

真謝・西崎区住環境負担軽減事業費が前年度比3,000万円の増となっているが、この事業は日常的に爆音被害を受けている住民のための事業であり、**民泊に来る子供たちにも沖縄の実態を知らせるべきで工事の順番は各区の推進委員会に委ねるべきだ**と考える。

新たに就学前児童均等割り軽減分41万円(このうち村負担分10万2,500円)が計上されているが、今後対象年齢を引き上げるとともに人頭税ともいえるしくみを変えるべきだと考える。**陸上養殖事業は、過去に行われた養殖業の失敗を教訓にして取り組むことを望む。**

政府は敵基地攻撃能力を含め防衛力を強化するなどと言い、ロシアのウクライナ侵攻を悪用しアメリカの核兵器の共有まで言い出している。これらの動きを阻止するうえでも**自衛隊の宣伝費(自衛隊募集委託金)**を計上すべきではない。

賛成討論 並里 晴男 議員

予算は前年度より減額になったが、「伊江島空港活用調査事業」の調査、継続事業である「畜産総合施設」、「農業集落排水事業」、各農業・林業振興にも取り組み、水産業においても、**漁業者への各支援事業を継続しながら、これまで実証実験を進めてきたスジアオノリの「陸上養殖施設」の整備も計画されている。**

教育環境の整備を図ると共に、児童生徒・高校生修学及び伊江村文化協会への支援、「沖縄本土復帰50年」の関連事業、商工観光業の振興・住民福祉の向上、生活環境整備・道路・住環境整備などの予算が計上され、本村の上位計画である「第5次伊江村総合計画」に基づいた各施策を更に推進し、村民の福祉の向上に寄与する事だと期待する。

「最小の経費で最大の効果を図る」ことを念頭に、常に村民ニーズを把握し、きめ細かく予算執行に取り組んでいただくよう切望する。



船舶運航事業会計予算 (抜粋)

反対討論 名嘉 實 議員

米軍を運搬している船舶運航事業会計には一貫して反対してきた。米軍を運搬することは演習による基地被害に村が加担することになるからである。

村長の施政方針で「在沖米軍基地内の新型コロナウイルスの感染拡大に伴い感染予防の観点から訓練の中止、村営フェリーを使用しないこと等、沖縄防衛局等に申し入れている。」とのことだが、現在も米軍内での感染は続いており**「村営フェリー等の公共交通機関を使用しないこと」を常時求めていくべきで米軍の運搬も予定した予算案に反対である。**

賛成討論 島袋 勉 議員

波除堤や定期バースの改修工事が4年度内に竣工する予定で、安定したフェリー運航につながる事を期待する。

燃料の高騰が続き**長引くコロナ禍の影響を受け依然として厳しい状況であるが、終息後を鑑みた予算編成であり、賛成する。**

ここを問う

一般質問の詳細については、ホームページの第2回定例会会議録をご覧ください



厳しい観光関連事業に支援策を

村長 事業継続に向けた支援策を引き続き行っていく

問 観光関連事業は、村経済に欠かせない産業であり、重要な政策と考える。経済回復に向けた支援策は。

答 村長

新型コロナウイルス感染症及び経済回復に向けた対策を最優先課題とし、国・県の支援事業等の周知及び動向に注視する。また、関係団体と連携を図り村単独事業も交えた確かつ効果的な観光需要の回復及び事業の継続に向けた支援策を引き続き行っていく。

問 旧ターミナル飲食テナントの出店者募集は。

答 島袋英樹 商工観光課長

広報紙や防災無線で呼びかけ確認したい業者に説明を行った。その後の相談はない。

て、支援策が考えられないか。

答 島袋英樹 商工観光課長

観光振興推進協議会の民宿宿泊部会を開催し、次年度以降の対応にもつなげていきたい。

問 「ビーチサイドハウスパーク」も魅力ある観光資源のひとつであるがその支援策は。

答 島袋英樹 商工観光課長

観光資源としてすばらしい施設であるが、厳しい状況である。直接給付的な支援ではなく、間接的な支援や国・県の支援策を内部で協議をしていく。

付加価値をつけた島らっきょうの商品開発は

村長 商品開発に取り組めるよう事業導入など支援したい

問 島らっきょうの安定した生産普及に向けて、消費者ニーズに合った付加価値をつけた新しい商品開発に向けて

取り組むことは重要な政策と考える。

拠点産地と認定された責任産地として、新しい商品開発はできないか。

答 村長

島らっきょうの商品開発に限らず、特産品を使った商品開発の必要性を強く認識しており、今後も村の大きな課題と捉えている。

商品開発に積極的に企業等が取り組めるよう事業導入や販路拡大を可能な限り支援したい。

問 農家から「出荷調整ができる冷蔵庫があったら良い」という声がある。農家が冷蔵庫を購入できる事業の条件は。

答 玉城正朝 農林水産課長

農家が島らっきょうの冷蔵庫を購入する事業として、産地生産基盤パワーアップ事業、特定地域支援対策事業、

野菜産地総合整備対策事業がある。

産地生産基盤パワーアップ

事業は、産地パワーアップ計画を作成し、それを伊江村地域担い手協議会で認定される事により、支援の対象となる。特定地域支援対策事業は、1地区あたり意欲のある個別経営体を原則、5経営体以上、育成する目標を設定して採択される。野菜産地総合整備対策事業は、受益地区の栽培面積が500ヘクタール以上という事で採択となっている。



島らっきょうを使った「いえぎょうど」



お 晴男 議員
なみざと 並里

村政の

シニアカーの交通事故未然防止に向けて

村長
事業者と連携し、シニアカーの安全運転講習会を実施する

問 村においてシニアカーを利用する高齢者が増えていく。高齢者にとって便利な移動手段であり、自動車運転免許証を返納された方は、特に利用されている。しかし、交通ルールは自動車等とは異なるため、出会い頭の事故が懸念される。

毎年、利用者に対し安全運転講習会を実施できないか。

答 村長
村では令和元年度からシニアカー購入に対して、半額補助をする事業を実施し、介護保険制度では、福祉用具貸与としてレンタル利用できることから、今後も増加することが見込まれる。

平成25年度からメーカー主導による年1回の安全運転講習会を実施しており、令和2年度まで定期的に実施しているが、令和3年度においては、新型コロナウイルス感染

症が村内でも拡大したことに伴い、実施を見送っている。

シニアカーの事故を未然に防ぐ観点から、事業者と連携し購入時に操作方法をはじめ、交通安全指導の協力依頼をしながら、今後もシニアカーの安全運転講習会を実施していく。

問 村民並びに来村者に対する交通ルールや、安全運転等に関する周知はできないか。

答 村長
シニアカーは、歩行者と見なされるとはいえ、乗り物であることから、交通ルールの遵守や安全運転は必要不可欠だと考えている。村民並びに仕事や観光で来村する観光客等に村内のシニアカーの交通量が多い現状を知っていただき、看板やチラシ等で情報提供および周知を行い、事故防

伊江村電動三輪車等購入補助金

年 度	申請台数	購入金額合計	補助金
令和元年度	18 台	3,944,770 円	1,806,000 円
令和2年度	18 台	4,622,300 円	2,044,000 円
令和3年度	12 台	3,172,000 円	1,415,000 円
合計	48 台	11,739,070 円	5,265,000 円

※補助金額は購入費の2分の1以内とし、限度額は15万円。

止に努めていく。また、年4回実施している交通安全推進協議会にも広く周知を図っていききたい。



シニアカー安全講習会



しまぶくろつとむ
島袋 勉 議員

「農業集落排水事業」 今後の事業計画は

村長 令和6年度に一部供用開始を予定している

問 農業集落排水事業の説明において、令和3年度は終末処理施設の施設設計及び処理施設周辺の管路一部整備工事であったが、村当局より発注された管路工事は、東江上地域の管路末端部になる工事となり、当初説明と大きく乖離している。その要因と、今後（令和4年度以降）この事業をどう進めて行くのか。

答 村長 令和2年度に実施した基本設計に基づき、今年度は終末処理施設の実施設設計業務を行っている。また、施設予定地のボーリング試験の結果において、琉球石灰岩特有の不均一な強度の地盤が確認されたことなどから、実施設計に時間を要し県に対して、令和4年度へ事業繰越しの調整を行っているところである。管路の一部整備工事については、当初は終末処理施設の周辺から一部工事を開始する計画だったが、水勾配を安全に確保する観点から、標高が高く終末処理施設への水勾配の始点となる東江上区、西江上区から工事を実施している。

また、処理施設の整備工事を令和5年度事業で計画しており、一部供用開始を施設整備後の令和6年度にできればと考えている。

問 農業基盤整備及び農地保全整備事業等について。

1. 現在整備中、新規整備事業及び整備済み事業の合計面積は
2. 整備予定総面積の面積割合は何か
3. 整備事業にて造成した浸透池数は
4. 東江上第3地区にて整備済みの「トレンチ工法」の効果検証はいつに予定しているか

答 村長

1. 現在整備中の事業については計56ヘクタール。新規整備事業は計49.4ヘクタール。整備済みの事業は305.7ヘクタールになり、合計355.1ヘクタール。
2. 整備予定総面積は671ヘク

3. 合計51か所。
4. トレンチ工法の浸透池は土地の有効活用を図る観点から、東江上第3地区で初めて導入をした工法であり、効果の検証については、大雨時の見回りによる浸透機能の確認を行うほか、維持管理費について一般的な浸透池と単位面積当たりの費用を比較し、令和4年度より検証していく。土地改良事業の実施に伴う漬れ地農地を最小限に抑えることであり、費用対効果の検証をしつつ、可能な限り漬れ地が出ないよう事業を検討してまいりたい。



トレンチ工法を使用した植栽帯

※1 農業集落排水

生活環境向上や農業用水の水質保全などを目的に、各家庭のトイレやお風呂などから出た汚水を下水道管を通じて処理場に集め、汚水処理を行ったのち、海や川に放流するための施設。

※2 終末処理施設

下水を最終的に処理して公共用水域または海域に放流するために設けられる施設。

※3 乖離

「離れること」「離れているさま」を意味する語

※4 トレンチ工法

4m穴を掘り、2m50cmまで雑石、塩化ビニールパイプを入れ、その上に土を戻して、植栽を行っている地下浸透施設のこと。



うちま ひろき 内間 広樹 議員

農業溜池の利活用計画の策定を

村長 利用度の低い溜池の利活用方法を検討する

問 本村の溜池建設は沖縄県の祖国復帰（1972年）にあたり各市町村で記念事業を実施することになった。当時の知念彦吉村長の「村の農業振興を図るには農業用水の確保を最優先すべきだ」の声によって東江上区と阿良区に2カ所の溜池が建設されたのが始まりである。その溜池の危険防止壁には、建設年の「72」の文字と日の丸を表す「ま

めその道の専門家のご意見も伺いながら今後の溜池の利活用計画を策定すべきだと思うがどうか。

る」がかたどられ今でも一部に残っている。溜池の建設により本村においても花卉栽培が導入され今日に至っている。現在村内には22カ所、容量で約65万トンの溜池が建設され農業発展に大きく貢献してきた。長年の念願だった地下ダムの完成により農業用水の確保という大きな役割を果たし、今では大雨時の海浜汚染を緩和する沈砂池や農業用水の配水池として利用されている。



72年の文字をかたどった復帰1号溜池

答 村長

国営土地改良事業による地下ダムの完成により豊富な農業用水が確保されている。大小22カ所の溜池のうち17カ所は国営関連溜池として今後も活用される予定である。水面の利用については揚水機や加圧機等の詰まりや機器類の故障の原因となることも考えられる。湧出溜池やアカシャ溜池等の利用度の低くなった溜池は今後どのような利活用があるのか検討したい。

問 溜池を巡ってみると現状のままで一時期ではあるが渡り鳥の鶺鴒が12、13羽ほど、クイナが5、6羽ほどいる溜池もあり、その溜池で小魚を繁殖させることにより渡り鳥を今より多く集めることができると思う。また昔の溜池にはアメンボ、ゲンゴロウ、ヤゴ、カエル等の生き物も多く生息していたが今はほとんど見受けられない。その水中生物が観察できる昔の溜池に造り変えることはできないか。笑い話をするかもしれないが、スッポンやうなぎの養殖等に利用できる溜

池に造り変えお金を生む溜池にすることも必要だと考える。まずは専門家のご意見を伺うことも大事ではないか。

答 村長

利用度の低い溜池については、有効に利活用していくことも必要だとの考えに賛同する部分もある。本来の目的も果たしながら時代の要請、要求に添った利活用に今後県内外の事例も調査研究したい。

村の新しい産業の育成、振興にも生かせることを念頭に有効利用した管理運営にあたっていきたい。



しまぶくろ よしのり
島袋 義範 議員

一人暮らしをしている方々の緊急時の連絡体制の確立を

村長 関係機関が一体となって、連絡体制を導入していく

問 昨年、一人暮らしをしていた

方が亡くなり、発見された時には死
後硬直していた事故が起きた。死因
は出血多量によるものだったそう
で、もしも発見が早かったならば出
血多量で亡くなるということは起き
なかったかもしれない。この事故は
一つの例だが一人暮らしの方が増え
ている現状を考えると、今後も孤独
死が起きる可能性がある。その対策
として自分自身に異常があった場
合、SOSを発信し役場とつなげる
体制の確立が必要だと思うが、どう
か。

答 **村長**

65歳以上74歳以下の単身世帯は
281世帯、75歳以上の単身世帯は
288世帯となっている。要支援世
帯24世帯中、単身世帯は19世帯と
なっている。今後、県内自治体での
実施方法や効果を調査し、福祉課、
住民課地域包括支援センター、社会
福祉協議会等が一体となって村の実



緊急通報システム

情に沿った体制と方法を検討し、導
入に向けて努めていく。

**海兵隊のEABO訓練に
反対すべきでは
関係機関と連携を図りな
がら対応する**

問 琉球新報は高軌道ロケット砲

システム（HIMARS）とみら
れる武器の展開を報じている。訓
練は、台湾と中国が戦争を始め、
米軍も参戦した場合に、ミサイル

基地が敵の攻撃から免れるように
するために、発射装置を移動しな
がら基地を確保する「飛び石作
戦」とも言われるものである。

台湾と中国の戦争が勃発し、米
軍も参戦した場合、米軍が集中す
る沖縄は真っ先に攻撃されるで
しょう。そうならないようにする
ために、現在行われている海兵隊
のEABO訓練に反対すべきだと
考えるが、どうか。

答 **村長**

訓練状況を確認していた名嘉議
員と政策調整室の担当職員が高機
動ロケット砲システム（HIMARS）
と見られる機材を確認した
との報告を受けて、担当室が沖縄
防衛局を通じて米軍に照会したと
ころ、訓練内容等については公表
できないとのことだった。EABO
訓練については、県内の米軍施
設で実施されており、沖縄県、基
地所在市町村で構成する軍用地転



な かの りる
名嘉 実 議員

用促進・基地問題協議会と連携を
図りながら対応していく。

※5 EABO

遠征前進基地作戦のこと。敵の接近阻止・領域拒否に対して、
その脅威圏内に前進基地を設置し、これを海軍・海兵隊部隊の
拠点として制海の支援などにあたるものとされる。

3/22

「伊江村立医師確保に関する意見書及び要請決議」
を**全会一致**で**可決**

県知事・県議会議長へ直接要請

村立診療所は、1960年（昭和35年）に開設し、長年にわたり医師の招聘、看護師や専門技師の確保に努めてきました。1日あたりの外来患者は1日平均100名前後で、常勤医師2人体制は必須であります。村では各関係機関への要請やホームページによる公募などを行っていますが、医師確保には困難を極めています。そこで、**村議会では、安定した離島医療の確保と常勤医師の確保に向け、県知事及び県議会議長へ要請を行いました。**北部選出議員の仲里全孝県議、平良昭一県議にも同行いただきました。

1. 医師不足の解消を図るため、伊江村立診療所への常勤医師の安定確保に努めること
2. 医師確保に向けた情報提供を図ること



大城玲子保健医療部長へ要請



赤嶺 昇県議会議長へ要請

※沖縄地域医療支援センターの「ゆいまーるプロジェクト」において医師を確保することができました。
5月から天野博哉医師が常勤医師として診療に携わっておられます。

令和4年春の叙勲 旭日双光章に友寄祐吉氏

ともよせゆうきち

昭和57年から平成26年までの8期32年にわたり村議会議員として村政の発展及び福祉の向上にご尽力をされ、平成6年から2期議長の役職を務め、議会の円滑な運営に務められました。退任後も社会福祉協議会の理事、副会長、会長を歴任し、福祉の向上に大きく貢献され現在に至っております。

伝達表彰を受ける友寄氏
5月6日 沖縄県庁

島袋義範議員、内間広樹議員表彰

2月17日（木）第51回沖縄県町村議会議長会総会が那覇市の自治会館で開催され、島袋義範議員が町村議会議員在職者15年以上として、全国町村議会議長会会長より、内間広樹議員が町村議会議員在職者11年以上として、沖縄県町村議会議長会会長より、表彰されました。



議決の結果

令和4年 第2回定例会

会期：3月3日（木）～3月17日（木）

議案番号	件名	議決結果
報告第2号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書の提出について	原案報告
報告第3号	令和4年度沖縄県町村土地開発公社事業計画の報告について	//
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について（西江前区 島田勝雄 氏）	適任
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について（西崎区 島袋和代 氏）	//
同意第1号	固定資産評価審査委員の選任について（真謝区 金城和廣 氏）	原案同意
同意第2号	固定資産評価審査委員の選任について（阿良区 長嶺徳和 氏）	//
同意第3号	固定資産評価審査委員の選任について（西江上区 知念和幸 氏）	//
議案第7号	令和4年度伊江村一般会計予算（起立多数）※P4～P7参照	原案可決
議案第8号	令和4年度伊江村診療所特別会計予算（全会一致）※P4～P5参照	//
議案第9号	令和4年度伊江村国民健康保険特別会計予算（全会一致）※P4参照	//
議案第10号	令和4年度伊江村後期高齢者医療特別会計予算（全会一致）※P4参照	//
議案第11号	令和4年度伊江村水道事業会計予算（全会一致）※P4参照	//
議案第12号	令和4年度伊江村船舶運航事業会計予算（起立多数）※P4～P7参照	//
議案第13号	令和3年度伊江村一般会計補正予算（第10号）	//
議案第14号	令和3年度伊江村診療所特別会計補正予算（第4号）	//
議案第15号	令和3年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	//
議案第16号	令和3年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	//
議案第17号	伊江村課設置条例の一部を改正する条例の制定について	//
議案第18号	機構改革に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	//
議案第19号	伊江村長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について	//
議案第20号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	//
議案第21号	伊江村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//
議案第22号	伊江村職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//
議案第23号	伊江村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//
議案第24号	伊江村農業集落排水事業運営基金条例の制定について	原案可決
議案第25号	伊江村農業振興推進協議会設置条例の制定について	//
議案第26号	伊江村体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//
議案第27号	伊江辺地に係る総合整備計画の変更について	//
議案第28号	伊江村体験交流施設の指定管理者の指定について（LLP伊江島ホースセラピー）	//

議決の結果

令和4年 第2回定例会

議案番号	件名	議決結果
調査報告	議員定数調査特別委員会報告 ※P2～3参照	報告
発委第1号	伊江村議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
意見書第1号	伊江村立診療所の医師確保に関する意見書 ※P13参照	//
決議第1号	伊江村立診療所の医師確保に関する要請決議 ※P13参照	//

第3回臨時会

会期：3月29日（火）

議案番号	件名	議決結果
報告第4号	伊江村総合運動公園屋内体育施設新築工事（電気）の専決処分の報告について	原案報告
報告第5号	伊江村総合運動公園屋内体育施設新築工事（機械）の専決処分の報告について	//
報告第6号	伊江村屋内体育施設備品購入の専決処分の報告について	//
報告第7号	農業基盤整備促進事業（東江上第3区）整備工事（R3）その1の専決処分の報告について	//
報告第8号	西小学校外構改修工事（R3）の専決処分の報告について	//
認定第1号	村道の路線廃止について	原案認定
認定第2号	村道の路線変更について	//
議案第29号	伊江村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第30号	令和3年度伊江村一般会計補正予算（第11号）	//
議案第31号	令和3年度伊江村診療所特別会計補正予算（第5号）	//
議案第32号	令和3年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	//
議案第33号	令和3年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	//
議案第34号	令和3年度伊江村船舶運航事業会計補正予算（第2号）	//

第4回臨時会

会期：5月20日（金）

議案番号	件名	議決結果
報告第9号	伊江村総合運動公園屋内体育施設新築工事（土木）の専決処分の報告について	原案報告
承認第1号	専決処分した伊江村税条例の一部を改正する条例の承認を求めることについて	原案承認
承認第2号	専決処分した伊江村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の承認を求めることについて	//
議案第35号	自走式攪拌機購入業務の契約について	原案可決
議案第36号	原料回収車等購入業務の契約について	//



知念 雅保

ちねん まさやす

行政区 西江前区



自己紹介

共栄自動車サービス代表。皆様のカーライフに寄り添える整備工場を目指し日々精進して参ります。



議会広報「いえそん」を読んだ感想

各議員の方々の一般質問の内容等とても解りやすく掲載されていると思います。



伊江村に対する意見や期待する事

我々整備業界を含め、様々な業種での人材不足の話をよく耳にしますが島の魅力や将来性を生かし、地域が活性化する事が叶えば、15歳で島立をし、村外で経験を積んだ若者がいずれ帰りたくなる様な島になり、ひいては島の繁栄に繋がっていくのではないかと思いますので議会、行政の皆様には一層のご活躍をご期待します。



大城 公

おおしろ こう

行政区 東江前区



自己紹介

葉物(モンステラ)を栽培。



議会広報「いえそん」を読んだ感想

カラーで、写真も多く使われていて良いと感じました。最優秀賞を受賞おめでとうございます。更なる高みを目指して、今よりも良い広報作り(全国での賞)に期待しています。



伊江村に対する意見や期待する事

若者が帰ってきやすい環境を整備する事が大事だと思います。Uターンして帰ってくる人達が働ける環境作りをしてほしい。

老人クラブ連合会役員・区長会・各団体長等 3月定例会 3/3・8

議会傍聴

感想やご意見ありがとうございました

Q1

「議会広報 いえそん」をご覧になったことはありますか。

- ①いつも見ている(11人)
- ②見たことはある(2人)
- ③知っているが見たことはない(1人)

Q2

もし、あなたが議員ならどのような質問をしますか。

- 定住促進に関心がある。住宅不足である。
- 子育てについて
- 子ども達の教育環境の充実
- 人口について(若者支援等)
- 観光産業(民泊事業)について
- 現在、沖縄本島より伊江島の風景をライブ配信しているが伊江村内部からも風景を固定カメラで配信する予定はないでしょうか(数カ所)
- コロナ関連の各種支援の申請について
- 女性の議員もいてほしい
- 産婦人科や助産師がいた方がよい

Q3

議会傍聴の感想をご自由に記入ください。(抜粋)

- 村長の施政方針は細かいことまで考えていたのだと思い、良かった。
- 傍聴席がせまいので、広めの席を。(メモしやすい様にテーブルを設置してほしい)
- 上がるのが大変なのでエレベーターを設置してほしい。
- 予算概要の説明を聞いたが、その内容をわかりやすくする為、議決前でも予算書の提供(貸与でも良い)はできないか。
- 初めて傍聴して緊張感がある議会だと思った。次に機会があれば、一般質問を傍聴したい。



区長会・各団体



老人クラブ連合会役員

議会の活動

3月 March

- 2日：沖縄復帰50周年記念事業資料提供要請(議長/中城村)
- 3日～17日：第2回伊江村議会定例会
- 4日：北部広域市町村圏事務組合議会第59回定例会(議長/名護市)
- 10日：例月出納検査(内田竹保監査委員)
- 12日：伊江中学校卒業式(議長)
- 22日：医師確保に関する要請行動(議長、内間広樹議員/那覇市)
- 23日：社会福祉協議会理事会(副議長)、評議員会(正副議長)
- 24日：第3回村行政改革推進委員会(議長、内間広樹議員)
- 25日：国頭村役場新庁舎落成記念式典(議長/国頭村)
- 29日：第3回伊江村議会臨時会
- 31日：役場職員退職者辞令交付式(議長)

4月 April

- 1日：役場職員人事異動辞令交付式(議長)
- 4日：教職員辞令交付式(議長)
- 8日：例月出納検査(内田竹保監査委員)
- 17日：アーニーパイル慰霊祭(副議長)
- 18日：沖縄振興特別措置法成立にかかる西銘大臣へのお礼(議長/東京都)
- 21日：芳魂之塔平和祈願祭(全議)
- 22日：県町村議会議長会定例理事会・沖縄振興拡大会議(議長/那覇市)
- 26日：議会広報調査特別委員会(議長・広報委員)
- 28日：もとぶ文化交流センター落成式(議長/本部町)
- 29日：伊江村総合体育館オープニングセレモニー(全議員)

5月 May

- 10日：伊江村総合体育館落成式(全議員)
- 11日：例月出納検査(内田竹保監査委員)
- 15日：沖縄復帰50周年記念式典(議長/宜野湾市)
- 20日：第4回伊江村議会臨時会
議会広報調査特別委員会(議長・広報委員)
- 26日：北部広域市町村圏事務組合議会第58回臨時会及び第1回北部議長会理事会・総会(議長/名護市)
- 30日：第47回全国町村議会議長・副議長研修会(正副議長/東京都)



沖振法成立にかかる西銘恒三郎内閣府特命担当大臣にお礼



伊江村総合体育館落成式

▶ 6月定例会予定 6月15日(水) 午前10時～

議会傍聴を希望される方は、議会事務局(☎49-2924)へお問合せ下さい。

また、新型コロナウイルス感染症の影響によりご遠慮いただく場合がございますのでご理解ください。

お詫びと訂正

議会広報いえそん176号(P16)掲載の生徒の名前に誤りがありました。

(誤) 新垣颯太さん→(正) 新垣颯大(しんがき そうた)さん。訂正してお詫び申し上げます。



わたし

私がいえそんを

か書きました!

題字記入者

名前

うちだ よしこ
内田 良子

生年月日

昭和4年2月20日生 93歳

行政区・屋号

東江前区・ウシニヤ

職員からみた良子さん

物静かで穏やかな方かと思いきやトンチのきいた返しが出来る頭の回転の良い方です。

「家では寝てばかりいるからデイサービスの時は外出できて、他の人とゆんたくもできるから上等!」と話され、今回の題字を依頼したところ、「冥途(めいど)のみやげになるさ～」と笑顔で引き受けて下さいました。



あの質問・質疑どうなった!? 令和3年3月定例会

フラワーアイランドに向けた調査を



満開に咲いた「マリーゴールド」令和3年12月撮影

虫の調査を行っていく。

現 「伊江村たばこ振興会」と協議し、4軒の葉たばこ生産農家へ種子を配付。40aの面積にマリーゴールドを植栽した。圃場内において、葉たばこの収量などを比較できるように、圃場の半分に種子を撒いた。3年間、収量や病害

ながら、検討していく。

答

費用及び植栽管理で農家への負担も生じる事から、「伊江村たばこ振興会」と協議を進め

ながら、検討していく。

質

新たなフラワーアイランドの一環として、夏から秋にかけて、将来的に村内一円で花を楽しめるよう、「マリーゴールド」を

まずは葉たばこ農家と連携し、実地調査を行っている。

ドウンチュイムニ 独り言

早いもので次回の9月号(No.178)をもって、議会広報調査特別委員会の4年間に満了します。この間には議会広報委員を始め、議会事務局の熱い思いが実を結び、広報紙のオールカラー化が実現しました。また、第19回沖縄県町村議会広報コンクールにおいて最優秀賞を受賞することができました。これも、先輩方の題字揮毫を始め、色々な企画に対し村民の皆様にご協力頂いた賜物だと深く感謝します。

これからも、議会活動をより「わかりやすく、伝わる、伝える」を一番に考え、残任中は頑張っていきますので「議会広報いえそん」をご愛読頂きますようよろしくお願いします。

結びに世界平和と新型コロナウイルス感染症の終息を衷心より望みます。

議会広報調査特別委員会 委員長 島袋 勉

今月の表紙
ダブルしょうた!

【右】海老原 将太(えびはら しょうた)38歳、神奈川県横浜市から移住して16年目。海神祭のパーリに出場し、チーム名:将太会にすべてをかけています。現在、葉たばこやさとうきび農家の手伝いをしています。

【左】永濱 頌大(ながはま しょうた)28歳、兵庫県姫路市から移住して6年目。現在は島らっきょう・紅芋を4,000坪栽培しています。東江前区の青年会長です。

議会や議会広報に関してご意見やご要望をお寄せ下さい。

(0980) 49-2924 伊江村議会事務局



印刷インキに植物由来の原料を配合して、温室効果ガスの発生を低減しています。



読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しています。